

メキシコ選挙(2018年7月)

～野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領に～

2018年7月3日

お伝えしたいポイント

- ・ 大統領選挙では、野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領になる見込み
- ・ 議会選挙でも、MORENA 率いる政党連合が上下両院で勝利する見通し
- ・ 選挙後のメキシコ・ペソは落ち着いた動き。今後は新政権の政策運営や NAFTA 再交渉に注目

＜大統領選挙では、野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領になる見込み＞

7月1日(現地)、メキシコで大統領選挙と議会選挙が実施され、各種報道によると大統領選挙では、野党・国家再生運動党(MORENA)のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領に就任する見通しとなりました。

メキシコでは現政権の政治汚職や治安対策の遅れ、米国のトランプ政権に対する弱腰な姿勢などから国民の不満が高まっていましたが、オブラドール氏はこうした問題を痛烈に批判するとともに、米国に対しても強硬な姿勢で臨むと主張してきたことで、支持を集めました。

議会選挙でも、MORENA 率いる政党連合が上下両院で勝利する見通しで、特に下院では過半数に達する見込みとなっており、本格的な政権交代が確実視されています。

＜選挙後のメキシコ・ペソは落ち着いた動き。今後は新政権の政策運営や NAFTA 再交渉に注目＞

今回の選挙速報を受けて、メキシコ・ペソが上下に振れる場面もありましたが、足元は落ち着いた動きとなっており、市場はこの結果を冷静に受け止めたようです。今後については、新政権の政策運営や NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉に注目が集まると考えています。

オブラドール氏は、現大統領が進める対外規制緩和などの構造改革に逆行する保護主義を志向する姿勢を示しており、メキシコからの資本流出などが市場では懸念されています。また、年金の増額やインフラ投資の拡大を提案する一方で、増税は行わないとしており、財政問題への懸念もあります。オブラドール氏がメキシコ市長であった際には、現実的な中道姿勢を維持したという評価があることから、今後は現実的な政策運営が行われると考えており、その動向を注意深く観察していきます。

NAFTA 再交渉については、貿易赤字の削減を目標として掲げ、メキシコおよびカナダに対して譲歩を迫る米国と、大幅な変更を望まないメキシコおよびカナダとの温度差は大きく、協議は難航しています。オブラドール氏は、米国に対して強硬な姿勢で臨むと主張してきたことから、今後の対米関係や NAFTA 再交渉の動向次第ではメキシコ・ペソが大きく変動する可能性も想定されます。

その他、金融政策については、オブラドール氏は中央銀行の独立性を尊重すると選挙後に述べています。メキシコ銀行(中央銀行)はインフレに対処するために適時利上げを行うなど、その金融政策姿勢は金融市場からの信認が厚く、そのような姿勢が今後もメキシコ・ペソの下支え要因になるとみています。

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

＜ご参考＞当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・メキシコ金融政策(2018 年 6 月)～インフレリスクに対応するためメキシコ銀行は 0.25%ポイントの利上げを実施～(2018/6/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180622_1.html
- ・メキシコ金融政策(2018 年 2 月)～メキシコ銀行は 0.25%ポイントの追加利上げを実施。次回さらに利上げの可能性も～
(2018/2/9)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180209_3.html
- ・メキシコ金融政策(2017 年 12 月)～メキシコ銀行は 0.25%ポイントの利上げを実施。引き続き NAFTA 再交渉の進展に注目～
(2017/12/15)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_1.html
- ・メキシコの地震の状況と金融市場への影響について(2017/9/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170920_1.html
- ・メキシコ金融政策(2017 年 8 月)～政策金利は据え置き、NAFTA 再交渉に引き続き注目～(2017/8/15)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170815_1.html
- ・メキシコ金融政策(2017 年 6 月)～利上げは今回で打ち止めに視野に。今後は NAFTA 再交渉の行方に注目。～(2017/6/23)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170626_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の 9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.97200%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会